

平成28年度「不登校を考える」学習会（第4回目）開催報告

講師：福岡市教育相談課子ども総合支援センター 木村 素也 さん

演題：不登校支援の輪を広げよう

～わかっているようでわからない子どもの気持ち～

日時：平成29（2017）年1月13日

場所：小郡市人権教育啓発センター

※参加者数 50名





学習会に参加されてのご感想・ご意見（抜粋）

- 私には3人の子供がいます。それぞれに不登校になり、毎日大変な日々を暮しています。今日の講演を聞き、自分の子育てに自信を持ち、また、これからも前を向いて生活していきたいと思いました。自己評価については、子育てに取り組んでいきたいと思いました。ありがとうございました。また、学習会に参加したいです。
- 子ども（あなた）が大切だよ。ということをおおげさなくらい伝えていきたい。あなたがいることが一番だよ。あなたの一番の味方だよ。そして、自分を大切にできる人になってほしい。
- 地域の「おいちゃん」が必要と感じた。
- 不登校になって、なった原因がつかめず、対処できず、恥ずかしい。このような機会がなく、子にゆだねてしまいました。参考になりました。ありがとうございました。
- 私の地域にも不登校になったお子さん、引きこもりになっている方などいらっしゃいます。普段、接していても、どうして不登校や引きこもりになっているのか分からない、本当に普通のとても素直な子どもさんですが、何も特別なことだというわけでもなく、誰でもそうなる可能性があるという今日のお話を聞いて、少し理解できました。これから地域の大人としてどうかかわっていけば良いか少しずつ学んでいきたいと思っています。
- 子どもの自尊心についての話が特に気になりました。データとして低いことは知っていましたが、それが子どもたちに生きづらさを与え、ストレス耐性を低くしている事、忘れないようにしたいと思います。娘から「ほら、また、お母さんは否定するよね」と言われるダメな母です。ただ、ふと思ったのは自尊心が低いのは、子どもだけなのかな？大人のデータをとっても同じ結果が出るのではないかと思いました。自分に対しても周りからどう見えているかの視点を持つこととむやみに自分をさげないこと。しっかり分けていきたいです。
- 子育てから遠く離れているので現状把握のため参加しました。学校に行きたくないのではなく、行けないということをしかり心に止めて、子どもを見ていきたいと思っています。
- こういう学習会が継続されていくことを願います。不登校の子どもたちも、困っている子どもたちの理解者（大人）が増えていくと、子どもたちの居場所はきっとどこかに見つかると思います。
- 子どもが成長しているので、実感がなかったけど、一般人として充分勉強になりました。先生の経験談も聞けたら良かったと思います。
- 今日はありがとうございました。不登校の子どもたちが特別なのではなく、誰にでも起こりうることだということがデータを基に話され中から知る事が出来ました。親として、どうかかわっていく方がいいのかなどのお話をもう少し聞きたかったです。